株式会社ENEOSマテリアル

Corporate Profile

何にだってなれる。

ときには、一人ひとりの豊かな暮らしの支えに。
ときには、社会と産業の進化を支える原動力に。
ときには、社会課題を解決するアイデアに。

私たちが提供する素材は、何にだってなれる、無限の可能性を秘めています。
私たちENEOSマテリアルは、素材と技術で無数の未来を切り拓いていきます。

ENEOSグループ理念

使命

地球の力を、社会の力に、そして人々の暮らしの力に。
エネルギー・資源・素材における創造と革新を通じて、社会の発展と活力ある未来づくりに貢献します。

大切にしたい価値観

社会の一員として

高い倫理観

誠実・公正であり続けることを価値観の中核とし、
高い倫理観を持って企業活動を行います。

安全・環境・健康

安全・環境・健康に対する取り組みは、
生命(いのち)あるものにとって最も大切であり、常に最優先で考えます。

人々の暮らしを支える存在として

お客様本位

お客様や社会からの期待・変化する
時代の要請に真摯に向き合い、商品・サービスの
安定的な供給に努めるとともに、
私たちだからできる新たな価値を創出します。

活力ある未来の実現に向けて

挑戦

変化を恐れず、新たな価値を生み出すことに挑戦し続け、
今日(こんにち)の、そして未来の課題解決に取り組みます。

向上心

現状に満足せず、一人ひとりの研鑽・自己実現を通じて、
会社と個人がともに成長し続けます。

製造業として品質、技術の腕を磨き続け
“継続して成長する事業グループ”

ENEOSマテリアルは、エネルギー・資源・素材のリーディングカンパニーであるENEOSグループの、素材事業を担う主要な事業会社です。2022年4月にJSR株式会社のエラストマー事業の分割により誕生し、更に2024年4月にENEOS株式会社の機能材事業の統合を経て、タイヤ材料事業、機能性材料事業、電池材料事業をグローバルに展開する企業として新たなスタートを切りました。

当社の強みは、長年培ってきた独自の高機能素材のモノマー製造、ポリマー合成、加工技術と素材開発力であると考えています。それを支える世界トップレベルの研究開発力、ENEOSグループとしての潤沢な石油化学品原料の調達力、グローバルネットワーク力を通じた製品の提供により国内外の自動車産業をはじめとする各産業の発展に貢献してきました。

現在、国際情勢や社会の目まぐるしい変化により、企業としてさまざまな社会課題に取り組むことを求められています。私たちENEOSマテリアルは、お客様のご要望に即応することはもちろん、素材の開発・提供を通じて社会課題の解決に挑戦し、誰もが暮らしやすい持続可能な社会の実現を目指していきます。

皆様には、高機能素材の発展に期待して頂くとともに、今後もENEOSマテリアルグループへの変わらぬご理解、ご支援を、よろしくお願い申し上げます。

株式会社ENEOSマテリアル
代表取締役社長　志賀 智

ENEOSマテリアル × タイヤ材料事業

世界中の笑顔と暮らしの、支えに。

世界トップクラスの技術と信頼で、安心・快適な毎日を足元から支えています。

日々の暮らしや経済活動を支える自動車。その走りを支えるタイヤには、ENEOSマテリアルの素材と技術が世界中で活用されています。

私たちは長年にわたり、タイヤ材料メーカーとして、お客様との確かな信頼関係を築きながら、タイヤ性能の向上に貢献する高機能素材を提供してきました。

持続可能なモビリティ社会の実現や環境負荷低減への対応が求められる中、当社は相反する性能要件を満たす設計・開発力、そして難度の高い仕様も実現する生産技術力を強みに、未来のタイヤづくりを支え、安定供給に取り組んでいます。

タイヤ材料事業の強み

長年培ってきたお客様との信頼関係

当社は、国内外の多くのお客様との長年にわたる協業を通じて、強固な信頼関係を築いてきました。お客様の声に真摯に耳を傾け、ニーズを的確に捉えた提案を重ねることで、信頼と実績を積み重ねています。

多様なニーズに応える設計・開発力

モビリティの進化や環境意識の高まりにより、タイヤに求められる性能はますます多様化しています。当社は、高耐摩耗性、低燃費性、高グリップ性能など、相反する性能を高次元で両立させる設計技術と材料開発力を有しています。

不可能を実現する生産技術力

高機能素材を安定して量産し、高い品質で提供し続けるためには、生産現場における卓越した技術が不可欠です。当社は、困難と思われる仕様や工程にも果敢に挑み、試行錯誤を重ねながら「できない」を「できる」に変える生産技術力を有しています。

Topic

世界3拠点から供給する低燃費タイヤ用 溶液重合スチレン・ブタジエンゴム（SSBR）

モビリティ分野の進化と環境負荷低減を支える素材としてSSBRの価値が高まる中、2024年度はグローバル市場の需要を捉え、高付加価値製品を拡販し、販売数量は過去最高を記録しました。当社のSSBRは、日本、タイ、ハンガリーの三極生産体制をとり、グローバルな営業拠点網に強みを持っています。日本国内はもとより、欧州・北米を中心としたグローバル市場でも高く評価され、その需要は年々拡大しています。ENEOSマテリアルは卓越した技術とグローバルな供給力で、これからも次世代モビリティの未来を加速させていきます。

ENEOSマテリアル × 機能性材料事業

社会とビジネスを動かす、原動力に。

機能性材料の提供を通じて、今日と明日の産業の発展を担っています。

一人ひとりの豊かな暮らしから、未来を切り拓く次世代のビジネスまで。機能性エラストマー、エマルション、高機能ポリマー、高機能モノマーなど、ENEOSマテリアルの提供する機能性材料は、その優れた機能を通じて、自動車産業をはじめとするあらゆる産業の発展を支えています。機能性材料事業で取り扱う製品群は、私たちがこれまで培ってきた高分子合成技術や有機合成技術によって支えられる独自の材料開発力により生み出され、多岐にわたる分野で活用されています。

機能性材料事業における代表製品群

機能性エラストマー／エマルション

当社は合成ゴム、ラテックス分野で汎用から特殊まで幅広い製品ラインナップを持っており、自動車部品、ベルト、ホース、シール材、産業用品などさまざまなお客様のニーズに対応しています。

高機能ポリマー

当社の高機能ポリマーは粘着性に優れ、樹脂や溶剤の改質機能を持ちます。粘接着剤、インク･塗料、潤滑油、タイヤ、フィルムなどさまざまなお客様のニーズに対応しています。

高機能モノマー

当社の高機能モノマーは、独自技術により製造され、合成ゴムや高機能性樹脂などの原料、高圧コンデンサー絶縁油、熱交換器熱媒油などとして使用されています。

Topic

医療現場とライフサイエンスの発展に貢献する機能性材料群

当社の機能性エラストマーは柔軟で高い透明性を持ち、輸液チューブとして医療現場で使用されています。また、シール性に優れ、医薬品の容器を密閉する薬栓として採用されています。高機能ポリマーはストーマ装具（人工膀胱や人工肛門を造設した際、腹部に作られたストーマから排泄される「尿」もしくは「便」を貯留するための装具）の粘着保持力を向上させ、装着時間の延長と漏れるリスクの低減に貢献しています。人々の治療と日常生活の質を高め、ライフサイエンスの未来を切り拓いています。更に、医療機器メーカーとの共同開発で得た知見を製品設計にフィードバックし、医療現場の課題を解決しています。

ENEOSマテリアル × 電池材料事業
モビリティの未来を切り拓く、光に。

次世代電池材料の開発で、
未来のモビリティの開発に貢献しています。

脱炭素社会の実現に向けて加速しているモビリティの電動化とは、従来の内燃機関（エンジン）から電動モーターによる駆動へと転換することであり、その中核を担っているのがリチウムイオン電池です。ENEOSマテリアルは、リチウムイオン電池の性能を根幹から支える「バインダー材」の開発・提供を通じて、電動化の進化を支えています。

私たちは、独自の高分子設計技術や粒子分散制御技術を駆使し、高い接着性・耐久性・安全性・耐熱性を実現したバインダー材で、電池の「高容量化」「高出力化」「長寿命化」に貢献しています。

電池材料事業の強み

国内外で評価される電池用バインダー材

最先端のリチウムイオン電池用バインダー材を開発し、グローバルに展開しています。バインダー材は、電極の構造安定性を維持し、電池の性能を最大限に引き出すために欠かせない材料で、優れた接着性や電気特性、信頼性が高く評価されています。

グローバルにおけるプレゼンスの高さと技術サポート体制

当社は、グローバル展開と技術サポートの両面で、他社と一線を画す存在です。日本に研究・製造拠点を構え、ベルギーと中国に技術ラボを設置し、主要な電池市場における迅速かつ地域に根差した技術サポート体制を確立しています。

未来のエネルギーソリューションに貢献

当社は、次世代電池に対応する革新的なバインダー技術の研究開発にも積極的に取り組んでいます。全固体電池向けバインダー材など、未来のエネルギーソリューションを支えていきます。

Topic

電池用バインダー材開発に向けたパイロットラボの開設

電池用バインダー材の開発効率の加速とグローバル市場での更なる事業拡大を目指しています。その取り組みの一つとして中国の主要EVおよび電池メーカーへの電池材料の販売を手掛ける同国の大手商社と共同で、中国南通市にラボを開設しました。当社グループが既に日本、欧州、中国に有していたラボ機能に加えて、大手商社が保有している従来のラボを抜本的に刷新し、電池評価が可能な最新のパイロットスケール設備を共同で導入しました。これによりお客様と同等の評価設備・技術の保有が可能になり、今後、電池用バインダー材の開発効率とグローバル市場での事業拡大を加速させていきます。

共同開設したパイロットラボの入口

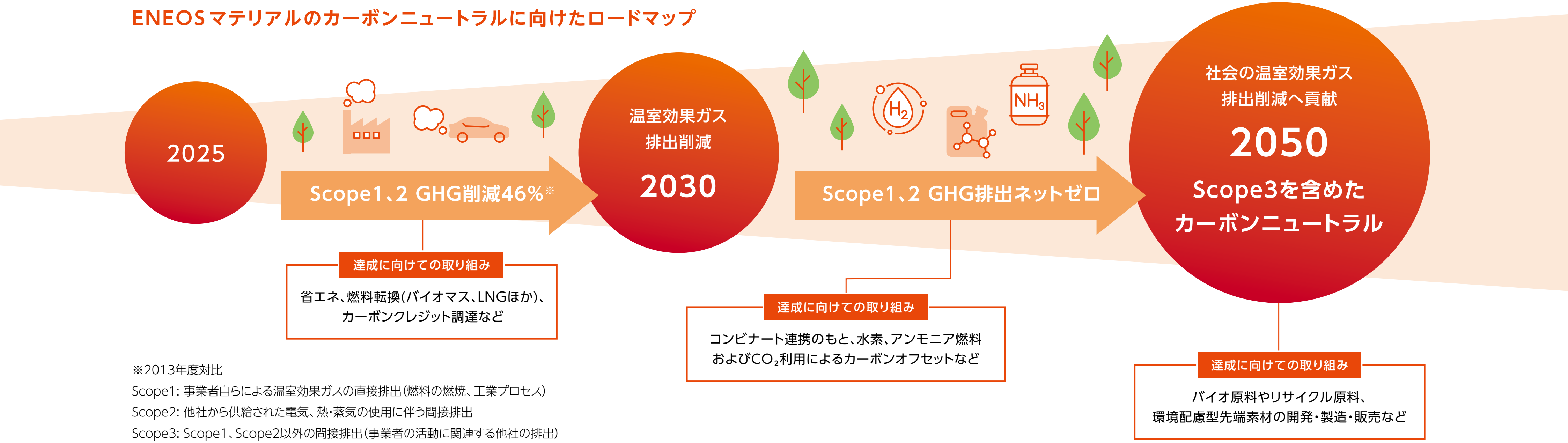
ENEOSマテリアル × サステナビリティ

誰もが暮らしやすい未来へ。

持続可能な社会の実現へ素材と技術で貢献していきます。

ENEOSマテリアルは、ENEOSグループの「ESG経営に関する基本方針」「カーボンニュートラル指針」に沿って各種取り組みを推進します。
独自の環境配慮型の製品や技術を通じて、気候変動問題への対応、循環型社会への実現に挑戦し続けます。

ENEOSマテリアルのカーボンニュートラルに向けたロードマップ



※2013年度対比
Scope1: 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)
Scope2: 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
Scope3: Scope1、Scope2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)

環境負荷低減に向けた取り組み
地域環境改善

ENEOSマテリアルは、大気汚染のほか、騒音・振動・臭気などの「生活環境影響」を発生させないために環境影響を低減する設備投資を行い、継続的に地域環境の改善に向けて挑戦し続けています。

グランドフレアーの設置による、騒音・光害の対策を実施

騒音・光害対策として可燃性余剰ガスを安全に燃焼処理するための設備であるグランドフレアーを設置し、周辺環境への負荷低減に向けて取り組んでいます。

蓄熱式燃焼脱臭装置の導入による、臭気の低減に貢献

合成ゴム仕上工程に蓄熱式燃焼脱臭装置を導入し、揮発性有機化合物（VOC）を高効率で処理し、悪臭の軽減に努めています。

排水処理設備の活用による、環境問題の改善に寄与

工場排水を油水分離、加圧浮上、活性汚泥、生物処理設備などで処理し、水質汚濁防止法および環境保全協定の排出基準値以下での維持・管理を推進しています。

循環型社会の実現へ貢献

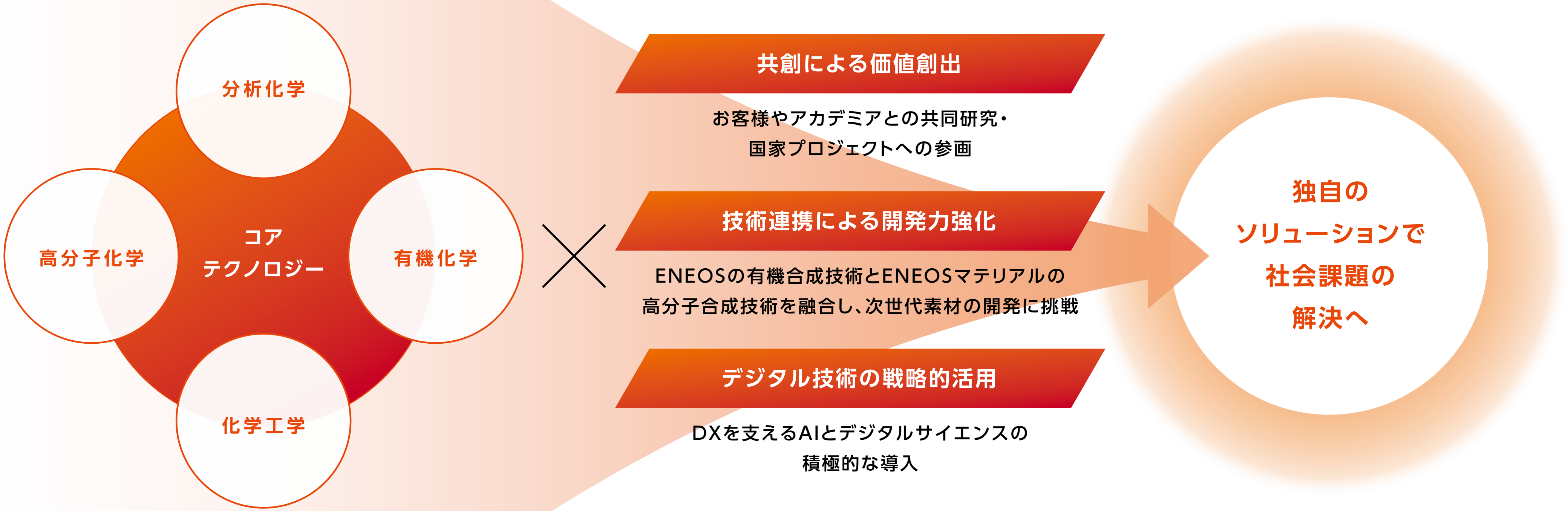
リサイクル可能な
タイヤ材料の開発へ挑戦

タイヤ業界では、循環型社会の実現に向けて、タイヤのライフサイクル全体で資源の有効活用や省エネ化の推進およびCO_2の排出量削減に取り組んでいます。当社でも新しい架橋システムによるリサイクル可能なタイヤ材料開発などに取り組み、環境負荷の低減に努めています。

詳しくはWebへ
サステナビリティレポート

未来になる素材を、ここから。

ENEOSマテリアルの強みは、長年にわたり培ってきた設計技術と材料開発力および生産技術力です。独自の分子設計、配合、性能評価・分析、量産における有機化学、高分子化学、分析化学、化学工学などの「コアテクノロジー」に加え、アカデミアやENEOSグループの知見、そして最先端のデジタル技術を融合させることで、社会課題の先駆的な解決につながるソリューションの提供に取り組んでいます。



次世代素材の開発に向けて高度な知見と技術力で挑む

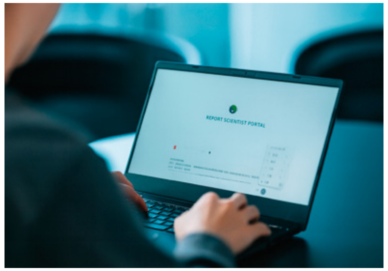
お客様やアカデミアとの共創による価値創出

お客様やアカデミアとの共同研究では、タイヤ材料、高機能化学品、先端素材の3開発部門を対象に、タイヤや電池材料事業の競争力強化および新規事業の創出に向けた要素技術の確立を進めています。

グループ内技術連携による開発力強化

ENEOSの研究員が当社に出向し、共同研究を推進。ENEOSの有機合成技術と当社の高分子合成技術を融合し、次世代素材の開発に挑戦しています。

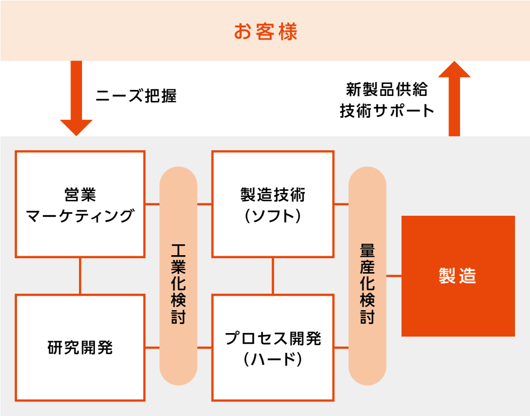
デジタル技術の戦略的活用



新素材の創生、材料開発の効率向上や省エネルギー化を目的に、デジタル技術を積極的に導入。世界で初めて、強化学習AIを用いたプラントの自動制御に成功し、従来の熟練者による手動対応をAIで自動化しています。

Topic

研究開発体制
拠点間連携と一貫体制で、次世代素材を実用化へ

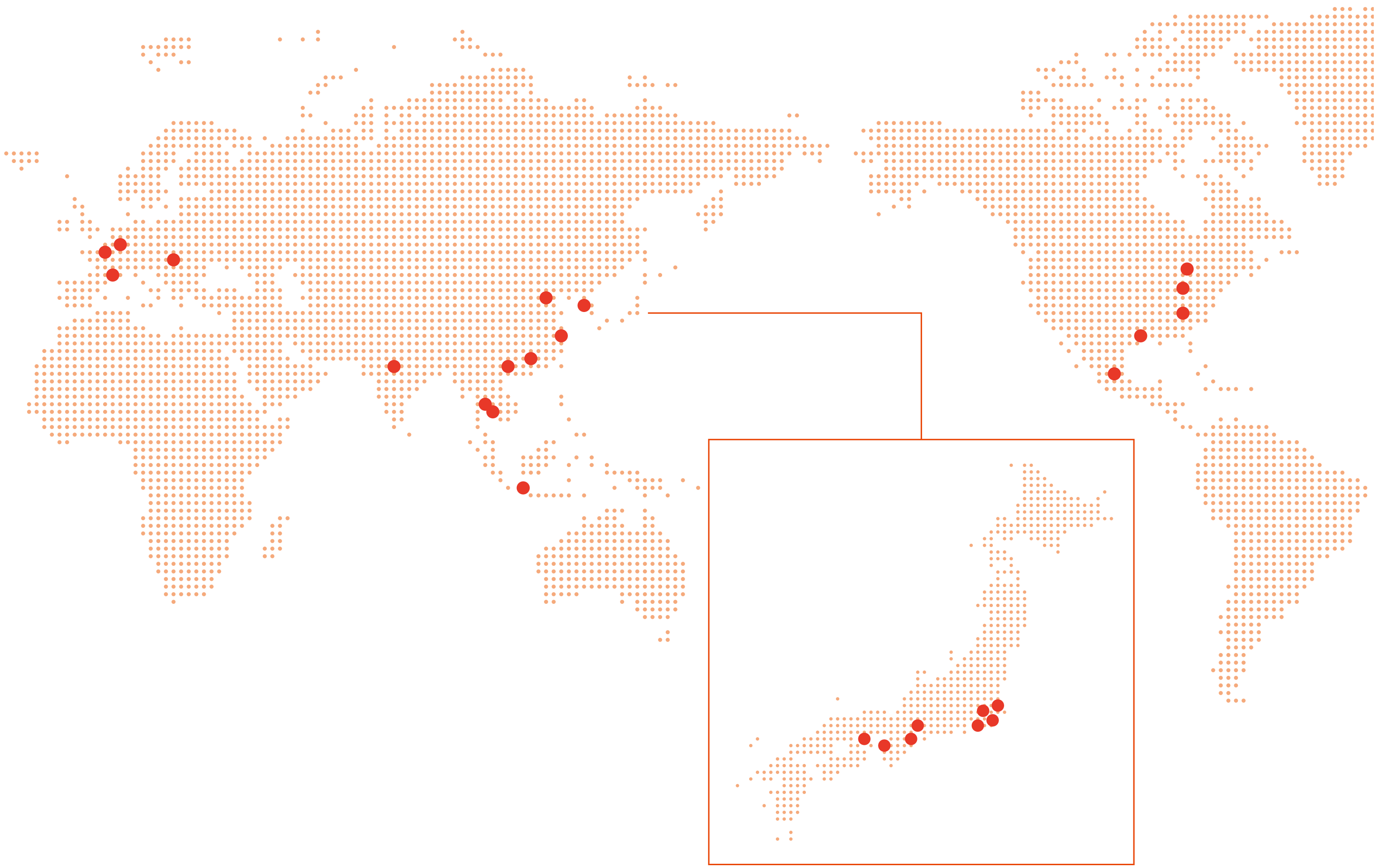


四日市・横浜・川崎の3拠点を中核に研究開発を展開し、拠点間の連携を通じて高効率かつスピーディな開発体制を構築しています。また四日市拠点は、研究開発からプロセス検討、量産化、品質保証までを一貫して対応可能な総合開発・製造拠点として、当社の大きな強みとなっています。

人々の暮らしと産業の発展を支えるグローバルネットワーク

国内19拠点、海外21拠点を主な基盤として、現地の多様なニーズに応える製品を提供し、グローバルに事業を拡大しています。

主な国内・海外の拠点



主な国内拠点　19カ所

㈱ENEOSマテリアル　本社
㈱ENEOSマテリアル　四日市工場・研究所（四日市拠点）
㈱ENEOSマテリアル　千葉工場
㈱ENEOSマテリアル　鹿島工場
㈱ENEOSマテリアル　研究所（川崎拠点）
㈱ENEOSマテリアル　研究所（横浜拠点）
㈱ENEOSマテリアル　名古屋事務所

ENEOS液晶㈱
ENEOSテクノマテリアル㈱
ENEOSマテリアルトレーディング㈱
㈱エラストミックス
㈱護光商會
日本合成樹脂㈱
ENEOSクレイトンエラストマー㈱
㈱サン・ペトロケミカル
日本ブチル㈱
塩浜ケミカル倉庫㈱(※)
朝日石油化学㈱(※)
日本グラファイトファイバー㈱(※)

(注)※を付した企業は持ち分法適用会社になります。

主な海外拠点　21カ所

ENEOS Materials America, Inc.
ENEOS Materials Europe Belgium B.V.
ENEOS Materials Europe GmbH
ENEOS Materials India Private Limited
ENEOS Materials Korea Co., Ltd.
ENEOS Materials Synthetic Rubber Hungary Ltd.
BST ENEOS Elastomer Co., Ltd.
ANCI, Inc
ENEOS Materials Trading (Shanghai) Co., Ltd.
Nippon Chemical Texas Inc.
ELASTOMIX (FOSHAN) CO., LTD
ENEOS Materials Trading Bangkok Co., Ltd.
ENEOS Materials Trading Mexico S.A. de C.V.
ELASTOMIX MEXICO S.A. de C.V.
ELASTOMIX (THAILAND) CO., LTD.
PT.ELASTOMIX INDONESIA
SUNRISE CHEMICAL LLC
ANCI SAS
ENEOS Materials Trading America, Inc.
ENEOS Materials Trading Vietnam Co., Ltd.
Tianjin Kuo Cheng Rubber Industry Co., Ltd.

あゆみ

社会の多様なニーズの変化に対応するため、
独自の技術・ノウハウを進化させ、成長し続けています。

1957
・「合成ゴム製造事業特別措置法」により日本合成ゴム株式会社設立

1960
・四日市工場稼働開始

1968
・千葉工場稼働開始

1969
・民間会社に移行

1971
・鹿島工場稼働開始

1997
・JSR株式会社へ社名変更

2011
・Bangkok Synthetics Co., Ltd.と共同で JSR BST Elastomer Co., Ltd.（現・BST ENEOS Elastomer Co.,Ltd.）設立
・四日市工場でのSSBRの生産能力増強を完了

BST ENEOS Elastomer Co., Ltd.

四日市工場SSBRプラント

2014
・MOL Hungarian Oil and Gas Public Limited Companyと共同で JSR MOL Synthetic Rubber Ltd.（現・ENEOS Materials Synthetic Rubber Hungary Ltd.）設立

2022
・JSR株式会社のエラストマー事業を分社化し、ENEOS株式会社全額出資により株式会社ENEOSマテリアルが発足

ENEOS
株式会社ENEOSマテリアル

2024
・ENEOSホールディングス全額出資会社となる
・ENEOS株式会社の機能材事業を吸収分割により承継
・ENEOS MOL Synthetic Rubber Ltd.を完全子会社化し、ENEOS Materials Synthetic Rubber Hungary Ltd.に社名変更

会社概要

社名：株式会社ENEOSマテリアル（英文名称：ENEOS Materials Corporation）
代表取締役社長：志賀 智
本社所在地：〒105-7109 東京都港区東新橋一丁目5番2号 汐留シティセンター
事業内容：合成ゴム、合成樹脂その他の化学工業製品の製造・加工・販売

設立：2021年5月12日（日本合成ゴム分割準備株式会社 設立）
　　　2022年4月1日（株式会社ENEOSマテリアルに社名変更）
資本金：10億円
株主：ENEOSホールディングス株式会社 100%

株式会社 ENEOSマテリアル

ミックス
紙 | 責任ある森林管理を支えています
FSC® C015539
FSC
www.fsc.org

株式会社 ENEOSマテリアル

〒105-7109 東京都港区東新橋一丁目5番2号 汐留シティセンター
https://www.eneos-materials.com/